

東芝レンジフードファン取付説明書

形名

VFR-36FU, 37FU



日本国内専用品
Use only in Japan

本製品は旧機種、VFR-36P, 36P₁, 37P, 37P₁ を上方排気でご使用されていた場合の新機種（Fシリーズ）への買替え用機種です。
VFR-36P, 36P₁ ⇒ VFR-36FU
VFR-37P, 37P₁ ⇒ VFR-37FU

- このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくは、カタログをごらんください。）



安全上のご注意

- 取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と、意味は次のようになっています。














表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。


図記号の例

図記号	図記号の意味
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

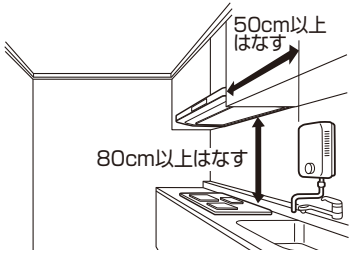
 警告			
 改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。	 吸気を確実に	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分大きな空気取入口を別につける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない 火災・感電・けがの原因になります。※修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。	 確実に差し込む	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災・感電の原因になります。
 アースを接続する	アースは、確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取付は、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。	 使用禁止	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 火災・感電の原因になります。
 接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合や本体を取り付ける場合、金属製ダクトや本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しない 漏電したとき、火災・感電の原因になります。	 禁 止	電源コードを傷つけたり、加工したり、束ねたりしない 電線に荷重をかけない 火災・感電の原因になります。
 取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。	 電源プラグに力をかけない	電源コードはゆとりを持たせ、電源プラグに力がかからないようにする また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する 火災・感電の原因になります。
 交流 100V 使用	電源は交流 100V を使う 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。	 ポリ袋破裂	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 頭からかぶるなどすると、口や、鼻を塞ぎ窒息する原因になります。

注意

 確実に取り付ける	フード・ガードや部品は確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。	 使用禁止	浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない 感電および故障の原因になります。
 確実に取り付ける	強度のある場所に、確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。	 接触禁止	運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない けがの原因になります。
 電気工事士が実施	電気工事・アース工事は、電気工事士（※）が行う 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼は、お買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。	 手袋着用	製品の取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
		 使用禁止	指定以外のランプを使わない ランプカバー周辺が高温になり、やけどの原因になります。

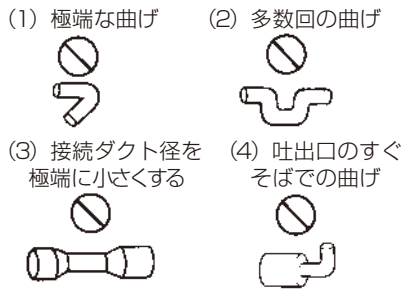
お願い

- ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。
火災予防条例では、80 cm以上必要です。



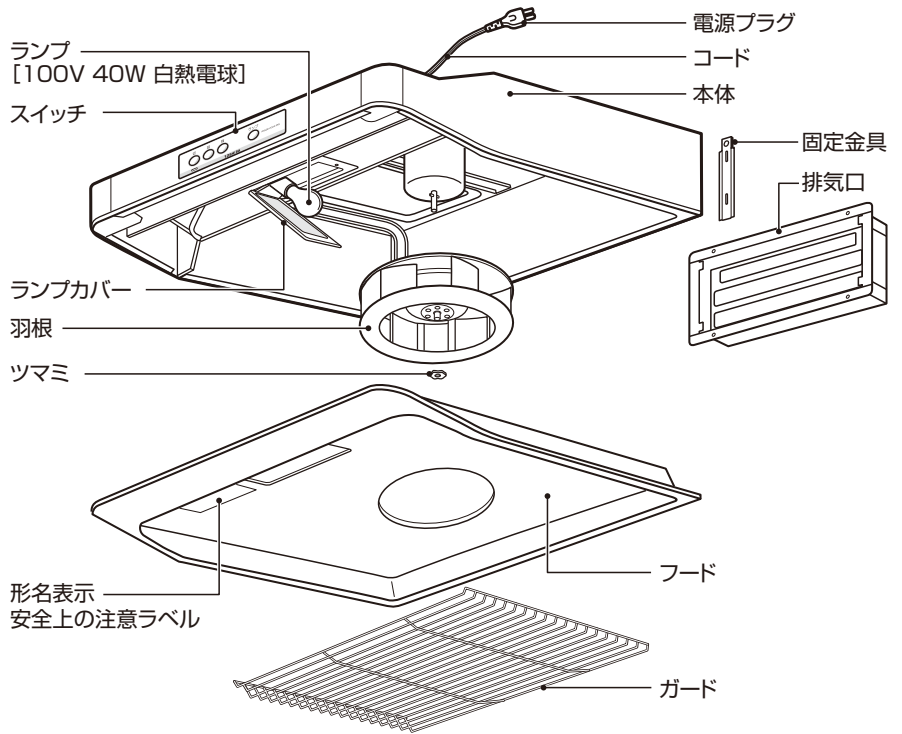
- 湯沸器は、50cm以上横に離して取り付けてください。
50 cm以下ですと、高温により故障の原因になります。
- 取付工事は地域により、防災上での制限があります。
関連法規に従って施工してください。
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。
- 取付工事は手袋をして行ってください。

- 周囲温度が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
故障の原因になります。
- 全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。
- 次のようなダクト工事はしないでください。

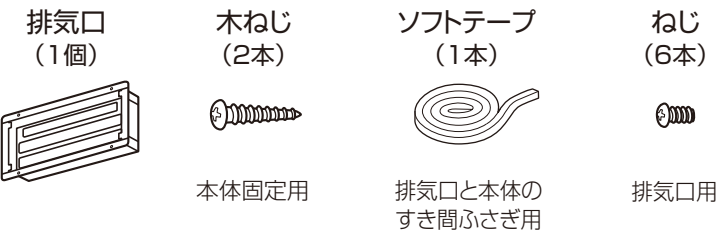


- 効率よく排気させるため空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。

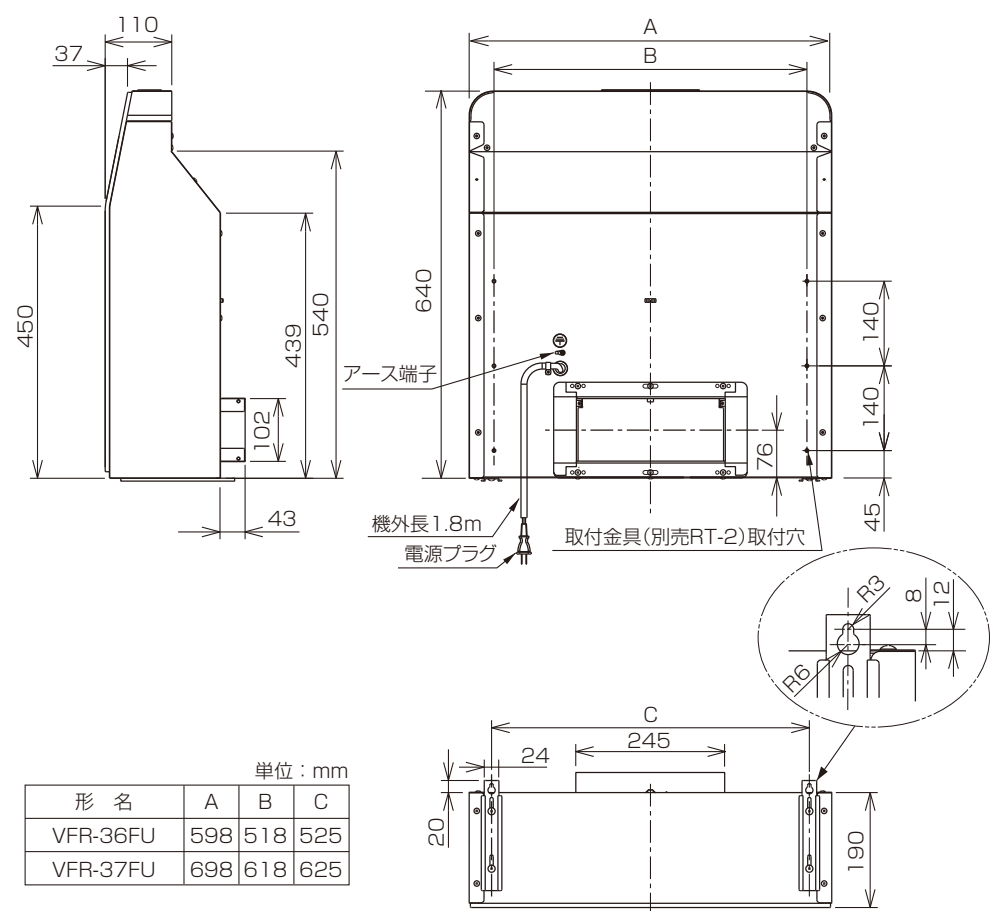
各部のなまえ



付属品



製品寸法図

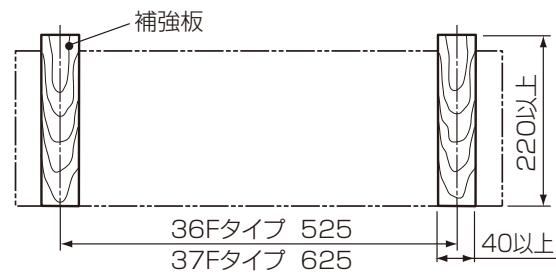


取付方法（壁取り付け）

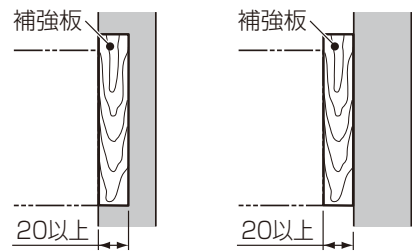
取り付ける前に、取付部の強度をよくお確かめください。取付部が弱いと落下したり振動の原因となりますので、補強工事をしたのち製品を取り付けてください。

取り付ける前の準備

●板張り・土壁の場合
取付部の板厚が 20mm 以下の場合は補強板を柱などに取り付けてください。

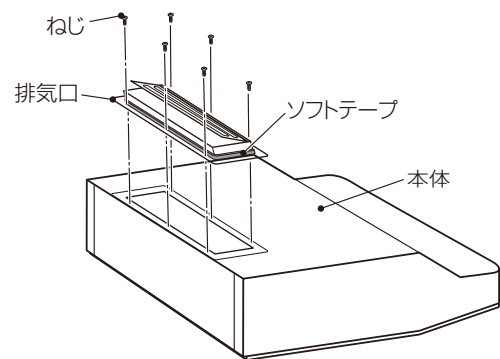


●コンクリート・タイル壁の場合
補強板をコンクリート釘などで固定してください。

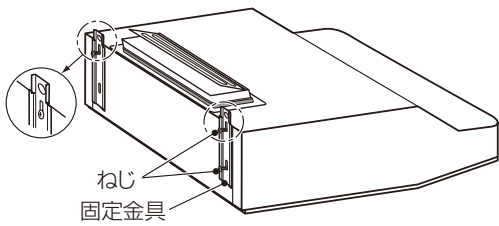


本体の取り付け

- 1 付属の排気口に付属のソフトテープを巻き付けます。
- 2 本体に排気口を付属のねじ（6 本）で固定します。

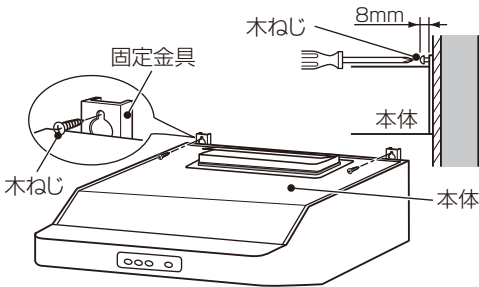


- 3 本体背面の固定金具（2 個）を固定しているねじ（各 2 本）をゆるめ、固定金具を上方へずらし、ゆるまないように固定します。



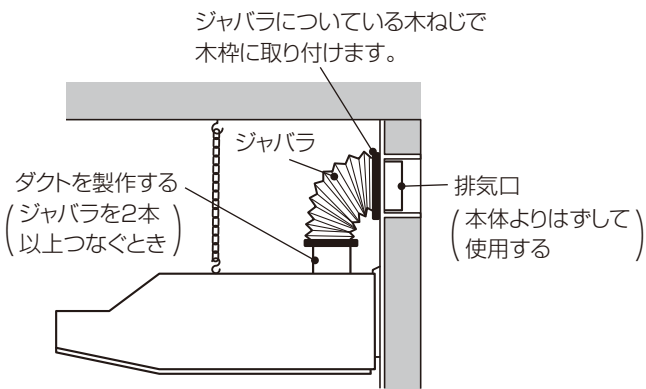
- 4 本体の取り付け位置に、付属の木ねじ（φ 4.1×45L）を図のように 8mm 締め付けを残して締め付けます。

- 5 木ねじに固定金具を引っ掛け、支えながら木ねじを締め付けます。



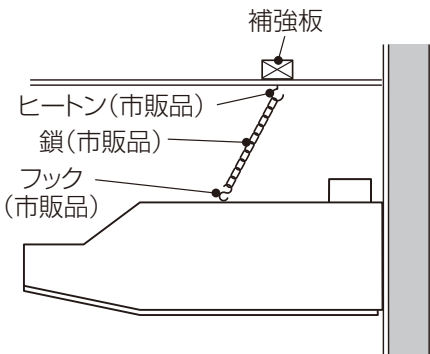
- 6 右図のようにジャバラを使用される場合は、RJ-5 を使用します。VFR-36FU, 37FU の上面にジャバラ RJ-5 を付け、排気口を壁穴の室内側に取り付けます。

※ジャバラを使用しますと圧力損失が高く、風量が低下しますのでできるだけ連結数を少なくしてください。（曲げて使用の場合は 2 本、まっすぐ使用の場合は 4 本ぐらいまでにとどめてください。）



お願い

本体の落下・振動を防ぐため、本体を壁に取り付けた後に市販の鎖・ヒートン・フックで本体を吊ってください。



アースおよび電源の接続

- (1) 本体天面のアースねじを使用してアース工事します。
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

試運転

以上で取り付け完了です。
つぎの点検を行い、異常がないか確認してください。

- 製品の強度が十分なこと
- 運転したとき異常音・異常振動がないこと
- シャッターの開閉が正常なこと